

かわぐち合唱団ニュース第60号

2017、11、22

代表 小川喜也

「旅」の表現力 UP!!

10周年まで あと 131日（練習回数は あと 16回）

11月15日の練習から：（録音がよく聞き取れず、不十分な記載になることをお許しください。）

1旅立つ日：

- ・「ゆけ」を（決然として）歌うために、準備して入ること。
（けー）が短すぎる。切々とした気持ちを込めて四分音符分伸ばすこと。休符も音楽の一部。入るタイミングに気を付けて。
- ・ p4「はてしな一い」の伸ばす部分は、八分音符4つ分伸ばし、次の「い」の着地点を揃えること。そして、ここで終わらず次の「やまじをゆけー」につなげる。「や」はいいなおすこと。
- ・ p5「くさはらーにくさひばーり」は、pでレガートで入る。pほど言葉を立てること。
（は）は「らー」に向かい、（ひ）は「ばー」に向かう。
- ・言葉を徹底的にやりたい。（前の母音に、後ろの子音をつけて歌う）
- ・力強く常にキラキラしていてほしい。
- ・音楽は始まったら終わらないので、練習の時一つ一つの事をいちいち確認しながらやる事。
- ・ p7「あこがれーに」は、f fでsostenuto(音の速度を抑え気味で)で、「になわれーてー」でTempo1で元に戻し、最後は決然と、軽く 押切り。自分たちでテンポを戻す感じで。

2村の小径で：

- ・素朴にしみじみと。
- ・出だしは音域が低いので歌詞を立てること。pであるが、Spはmpのつもりで歌うこと。
（pほど歌詞を立てる。）出だしの入り方を揃えること。
- ・ p8「いろりパチパチ」は、「チ」が大きくなりすぎない事。
- ・ p9「たぬきのはなしー」の「し」は、押して喉声で歌わない。やさしく上あごを持ち上げて歌う事。
- ・（むらのじさまが）（むらのじぞうさんが）（とうげのいっぽんすぎ）など、音域が低いので音量が減る。もう少し声を出して。
- ・ p11最後のハミングは、ppでおはなしの最後の（おしまい）って感じ。初めのハミングでrit.がかかり、最後のハミングでa tempoでおわる。指揮をよく見て。

3旅のよろこび：

- ・「ん」でつまらないように。前に向かっていく感じで。2回目の「とんでる」は、もう少し大きく。
- ・ p12（オーイ）はやまびこの感じで。
- ・ p14（とんでるカモメ）は、音域が下がるので音量が減る。カモメが飛んでるように音量を増やして歌う。
- ・ p14（かなたー）は（あなたー）に聞こえるので、「k」をきかせて。
- ・ 喜ぶ感じがもう少し欲しい。ここから飛び立つ感じで。

ぜひ 見学にいらして下さい。